

常照

第820号

『とらわれないこころ』

皆さん、日本で一番信者が多いのはなんの信者だと思いますか？ 禅宗？浄土真宗？はたまた天理教？創価学会？キリスト教かも。

どうでしょうか、たぶん皆さんは色々な宗教や宗派のことを思い浮かべたのではありませんか。しかし、実はどの宗教でも、どの宗派でもありません。それは『迷信』の信者なのです。そんなことない

と思う人もいるとは思いますが、日本人は大なり小なり何らかの迷信を信じています。

例えば『大安』。結婚式などの祝い事は大安の日を選ぶ人は多いのではないのでしょうか。

私も車を購入したときにお店の方から「納車日はいつがよろしいでしょうか？大安の日はこの日とこの日ですがいかがでしょう」と言われたことがあります。また『友引』にはお葬式をしない。友を引くから自分もあの世に連れていかれるなんてよく聞きますよね。私はそのようなことは信じていませんが、実際火葬場が友引の日を休みにしてしまっているのでお葬儀ができなくなっている所も多いようです。

これは迷信が元になってしまっていますよね。科学が進歩した現代でもこの『迷信』は根強く残っているようです。

では皆さん1から9までの数字でどの数字が好きですかと尋ねられたらどう答えますか？最近は何と答える人が多いようです。ラッキー7と言われるように、パチンコとかでも7が揃うとフィーバーで玉がいっぱい出るようです。これは西洋から入ってきた考え方ですが日本では昔から8が好まれていました。漢字で八と書くと末広がりで縁起がいいと言います。では好まれない数字は何でしょうか？きつとそれは4と9ではないでしょうか。4は「し」と読むので「死」を連想し、9は「く

と読み「苦」を連想させるからです。

仮に皆さんが病院で診察を受け、「大したことはないと思うが念のため検査入院をしましょう」と言われたとします。看護師さんが入院の手続きをしに来て、「今日は病院が混んでいて病室が33号室か44号室しか空いてないのですがどちらになさいますか」と聞かれます。さあそういう話になったとき皆さんはどちらの部屋を選びますか？きつと「44号室は縁起が悪いから33号室にしよう」と考えるでしょう。しかし、ここで「本当にそうなのであるのか」と考えるのが念仏者です。お念仏と言うのは世間でまことしやかに言われている常識や価値観を

別のところから見据えていく、もう一つのものの見方なのです。

別な見方をすれば、「いや33号室は3と3だから散々な目に合うかもしれない。44号室は4と4と合わさっているから4合わせ、即ち幸せになるかもしれない」とも言えるのです。

人間はものの見方が変われば心が変わり、心が変わればやがて生き方が変わります。同じものを見るにしてもこれほどまでに差がでてくるのです。ですからもの見方は恐ろしいのです。これ一つ違うだけで人間は幸せにもなれば不幸のどん底にも落ちるのです。

仏教という教えは私たちに正しいものの見方を教えてくださるのです。

話を戻します。保険に入っていれば入院をするとお金が出ます。保険金が3万と4万或いは8万と9万ではどちらを選びますか。散々4や9を嫌っておきながら、ことお金になると3万より4万、8万より9万円を選ぶのではありませんか？おかしいですよね。このことから分かりますが数字は単なる数字です。いいも悪いもありません、その数字に自分の都合を結び付けて時と場合によって態度を変えて生きていく人の心の在り方に原因があるのです。このことに気づかされるのが仏教のみ教えなのです。幸いや災いが本当に外からやってくるのでしょうか？本当に4が死に結び付き、9が苦しみに繋がるなら九州の人は苦し

み続け、まして四国の人はどうなるでしょう。死んでいくのは四国の人ばかりになってしまいました。こういうものの考え方は生き方をどんどん窮屈にしてしまいました。むしろ逆にそういうものにとらわれない、振り回されないことこそが私たちがいただいた命を精一杯輝かせて生きていく道であると親鸞聖人はお示しくくださったのです。『念仏者は無碍（むげ）の一道なり』何ものにも邪魔されない一筋の道を歩んでいく。これが仏様の真の心に目覚めたものの姿であるとお示しくくださっております。

どうぞお念仏申しましょう。

合掌

南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏…

五月の常例布教(ご法話)のご案内

○前期 五月七日(土)～十一日(水)

鹿兒島教区東隅組 願成寺

講師 藤 清道師

○後期 五月十三日(金)～十六日(月)

安芸教区山県太田組 安養寺

講師 小林 邦 顕師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時(法要終了後)～

午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使にご法話をして頂きます。どうぞお誘い合わせ頂き、ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気実施の上、お待ちしております。

発行所

☎047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号

本願寺小樽別院

電話 (011-34) 2211074
FAX (011-34) 2914080
テレホン法話 (011-34) 2711616